

8月21日午前4時20分頃、沖縄県において、タクシーが空車で片側二車線の道路を走行中、横断歩道のない道路の左側から右側に横断していた歩行者を撥ねた。

この事故により、撥ねられた歩行者は死亡した。

事故当時、当該タクシーは右側の車線を走行していたが、当該歩行者は、左側の車線を走行していた車両の前方から横断してきたため、当該タクシーの運転者は気付くのが遅れた模様。

(4) タクシーがガードレールに衝突して横転した事故

8月22日午前1時45分頃、神奈川県において、タクシーが乗客1名を乗せて運行中、スリップしたため、左側のガードレールに衝突して横転した。

この事故により、当該タクシーの運転者が重傷、乗客が軽傷を負った。

事故当時、当該タクシーの運転者は、雨の中、制限速度60キロメートルの道路を約80キロメートルで走行していた模様。

(5) タクシーが分岐点の縁石に接触して横転した事故

8月23日午前0時30分頃、大阪府において、タクシーが乗客2名を乗せて片側二車線の道路の右側車線を走行中、当該二車線の中央に設置された分岐点の縁石に左前部が接触して横転した。

この事故により、当該タクシーの運転者が死亡し、乗客1名が軽傷を負った。乗客のもう1名は病院で検査を受けたが、負傷はなし。

当該分岐点の左側車線は側道、右側車線は線路を越える陸橋へ向かう道路で、事故当時、雨が降っていた。

なお、当該タクシーの運転者は、シートベルトを装着していなかった模様。

(6) トラック運転者が酒気帯び運転の疑いで逮捕

8月19日午前9時頃、福岡県の高速道路において、大型トラックがふらついて走行していたため、通報を受けた警察は、走行中の当該トラックを停車させて、当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該トラックの運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出された。

この事案による負傷者はなし。

警察は、当該トラックの運転者を酒気帯び運転の疑いで逮捕した。

当該運転者は、宿泊を含む運行計画で、所属する営業所を出庫する際、当該営業所の運行管理者が実施した点呼において、酒気帯びの有無を確認するために使用したアルコール検知器の測定結果に異状はなかったが、宿泊先における電話等による点呼は行っていなかった。

なお、当該トラックの運転者は、警察に対して「日をまたぐ時間位まで日本酒を飲んだ。」と話している模様。

(7) トラックが交差点で乗用車と衝突した事故

* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

